

令和2年3月吉日

放課後等デイサービス

アバンツァーレスポーツご利用者各位

(宮城県指定 第0450700372号)

放課後等デイサービス

アバンツァーレスポーツ

令和元年度 アバンツァーレスポーツの自己評価実施について（報告）

令和元年度も残すところ後、僅かとなってまいりました。皆様方にはご多様な時期とは思いますが、ご健勝のことと存じます。また、今年度もアバンツァーレスポーツの活動につきましては、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、過日ご協力の下、実施させていただきました、表記「令和元年度 アバンツァーレスポーツ自己評価」の結果と、今後の対応について、話し合いを持ちましたので、下記の通りご報告させていただきます。

記

1 令和元年度自己評価 保護者用

- ① 実施時期 令和2年1月
- ② 対象 アバンツァーレスポーツ利用者 45名
- ③ 回答数 32名/45名
- ④ アンケート結果 別紙「保護者等向け 放課後等デイサービス評価表」及び結果グラフ化
- ⑤ 対応について話し合い 令和2年2月10日（月）話し合いを職員で実施。
- ⑥ 3月保護者へ通知
- ⑦ HPに掲載

2 令和元年度自己評価 事業者用

- ① 実施時期 令和2年2月～3月
- ② 対象 放課後等デイサービス職員（正職員、臨時職員 計8名）
- ③ 回答数 6名/8名
- ④ アンケート結果 別紙「事業者向け 放課後等デイサービス評価表」及び結果グラフ化
- ⑤ 対応について話し合いの実施 令和2年3月17日
- ⑥ 3月保護者に通知。
- ⑦ HPに掲載。

3 自己評価について

- ① 保護者向け自己評価について
 - ・ 多くの項目で「はい」の回答をいただくことができた。
 - ・ 「はい」の項目で評価が80%を下回っていたのは（1）「子どもの活動のスペースが十分に確保されているか」73%、（5）「放課後児童クラブや児童館、障害のない子供たちとの交流」の

項目が24%、(9)「子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか」76%、(14)「非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」73%の4項目であった。

○ 結果を受けて

：マイナスが特に大きかった「放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもたちとの交流」については、同じアバンツァーレスポーツの「泉事業所」や「利府事業所」との合同のASF（アバンツァーレスポーツフェスティバル）を実施しているが、土曜日の開催であること、泉事業所の近くの屋内フットサル場での開催で、あまり参加がなかったのが原因と考えている。名取の事業所での単独でのASFや「収穫祭」も実施しているが、同一の事業所内にある就労移行支援事業テラグサッサには案内を出したが他の近隣の事業所などには周知していない。

：他の「はい」が70%台の評価として、(1)活動場所について、文言での記述での要望は無かったが、保護者の面談でもう少し広ところでサッカーがしたいとの話が出ていたことなどがあり、気持ちは理解できる。(9)の「苦情の対応」については「いいえ」との回答は3%であったので約1名の方がそのように感じていたとのことなので、更に保護者の声を聴けるように考えていきたい。さらに(14)の「非常災害の発生」に対しては、「いいえ」の項目は0人であったので、放課後等デイサービスとしても今年度は「避難訓練週間」として週内で2回、年4回の実施をしているので、もう一步丁寧に周知を図る必要があると考えている。

② 事業者向け個人評価

- ・ 「はい」と「どちらともいえない」という項目を合わせると、ほとんどの項目で、100%近くの結果となった。
- ・ 「いいえ」と回答があった項目は少ないのだが、それぞれ1ポイントの記入があったのが(3)「事務所のバリアフリー化」、(7)第三者の外部評価を受けて事業改善のために活用されているか(22)「医療的なケアが必要な子どもを受け入れる場合、医師との連携」(24)「学校を卒業し障害福祉サービスへの移行の場合の対応」(25)「児童発達支援センターなど外部専門機関の助言を受けているか」、(43)ヒヤリハット事例集を作成し、活用されているか。などであった。

○ 結果を受けて

- ・ おおむね共通理解の下に実施されていると感じられる。
- ・ この施設で実施していない項目もあり、表記の結果になったと考えられる。
- ・ 外部機関との連携、第三者の評価の活用など、外部との連携が課題となっていることが分かった。また、ヒヤリハット集の作成と活用など、記録の整備という点でも課題が見えてきた。

4 今後の対応

○ 保護者からの自己評価について

- ・ 他事業所との合同の活動については、今年度実施した「泉事業所との夏休み合同練習会」「合同ASF」の実施や結果の報告など保護者への周知などより充実したものにしていきたい。
- ・ 避難訓練の実施については、現在年2回各1日の実施を、年2回の「避難訓練週間」と設けその期間内で人員的な余裕を見ながら実施の回数を増やしていきたい。また、保護者には会報誌などで大きく取り上げ、周知していきたい。

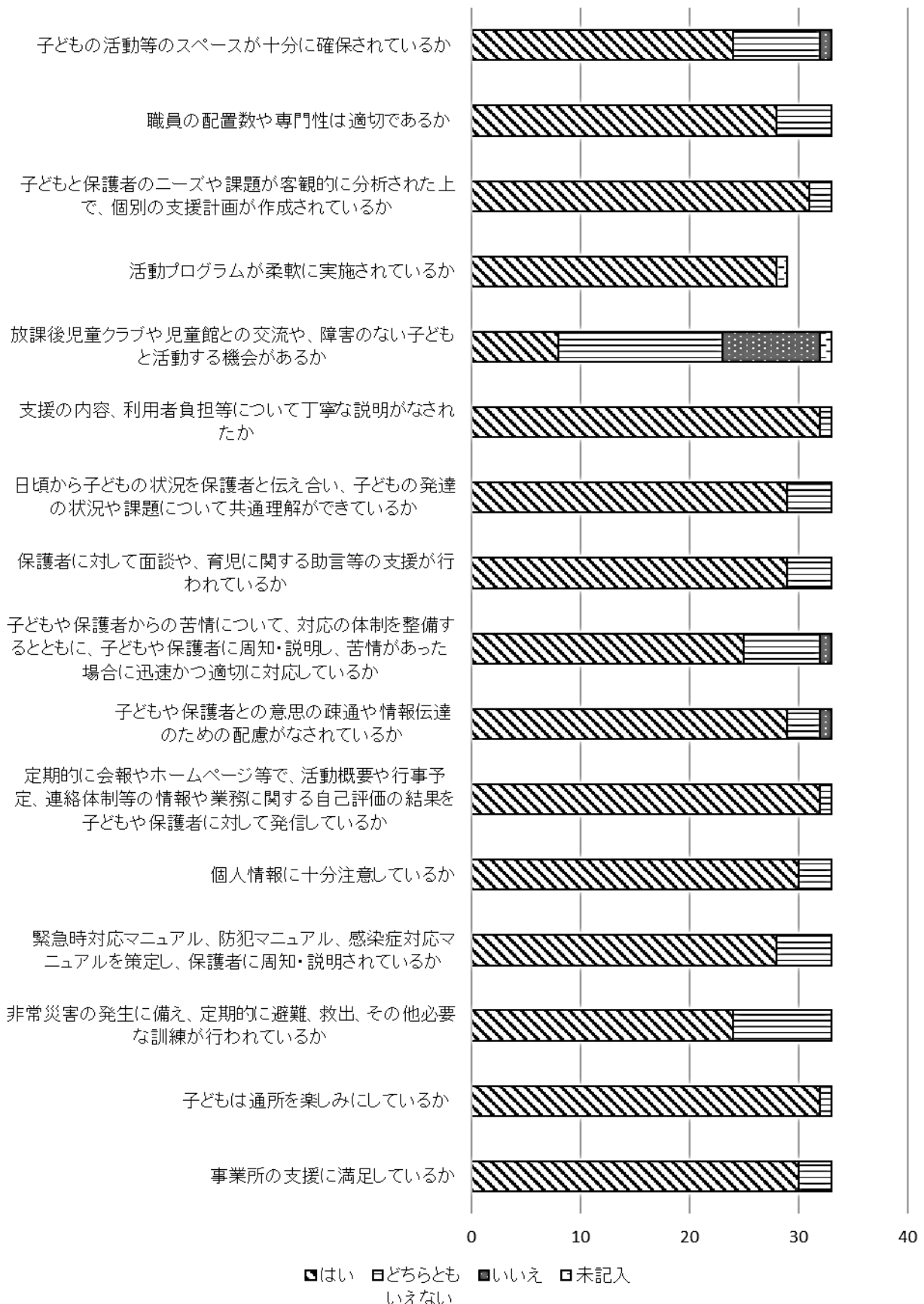
- ・ 苦情対応については、必要な場合には電話など活用しながら、より、気軽に、わからないことがあったら聞くことが出来たり、苦情や悩み事も相談しやすい雰囲気と体制を考えていきたい。
- 事業者の評価について
 - ・ 外部評価という内容や、外部の専門機関との連携が課題と見えてきたが、利用者個人の担当者会、地域で行われている、相談事業所中心の研修会などに積極的に参加するなど、外部との連携も改善していく必要があると考えている。

5 まとめ

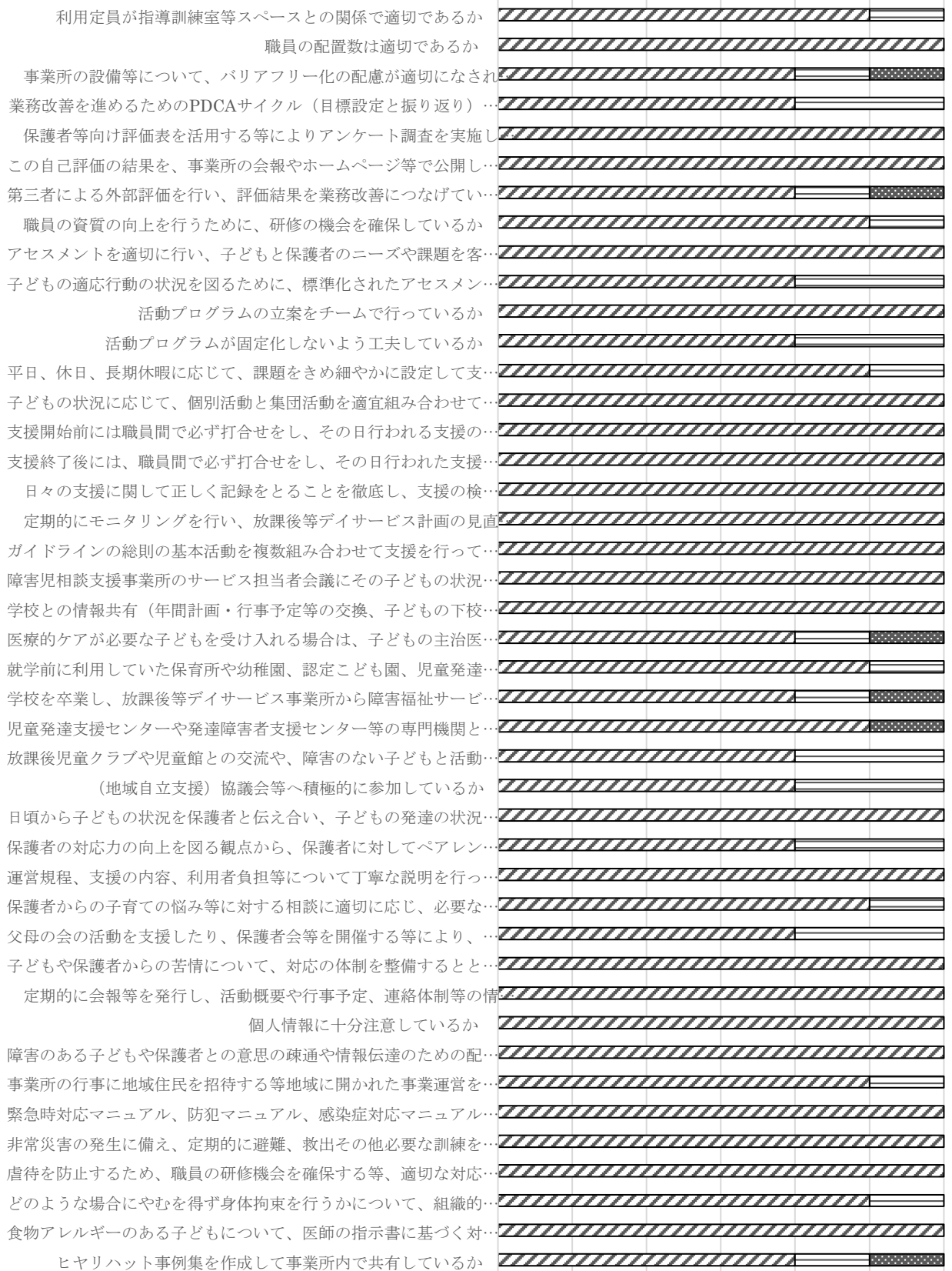
今回も、多くの保護者の皆様や、指導員の方々にアンケートのご協力をいただき、ありがとうございました。

多くの内容に賛同をいただけたことで、開設7年目を迎える本事業所の活動により自信を持って取り組んでまいります。また、昨年度と同じように評価の低かった項目もあり、これでいいという慢心を排し、前向きに進んでいきたいと思っておりますので、今後ともご理解とご協力、そしてご指導をよろしくお願いいたします。

自己評価(保護者用)



自己評価（事業者用）



はい
 どちらともいえない
 いいえ

いえない

0 1 2 3 4 5 6 7